

イラク基礎資料集

人口 2250 万人(1998 年)

民族構成

アラブ民族 約 8 割弱
クルド民族 約 15-20%
その他 トルコマン人、アッシリア人、アルメニア人

宗教

イスラム教徒シーア派 約 55-60%
イスラム教徒スンナ派 約 35-40%
キリスト教徒などその他 約 5%

歴史

1921 年 オスマン帝国の解体により、バグダード州、バスラ州、モースル州を統合して、イラク国として英国の委任統治下に
1932 年 イラク王国として独立
1958 年 王制打倒の共和制革命、軍人主導の反欧米、反イスラエル政権成立
1968 年 バアス党政権成立
1979 年 サダム・フセイン、大統領就任
1980 年 イラン・イラク戦争開始
1984 年 米国との国交回復
1988 年 イラン・イラク戦争停戦
1990 年 イラクのクウェイト侵攻
1991 年 湾岸戦争、戦後直後に 70 年振りの全国暴動
1995 年 大統領娘婿で実質 No.3 のフセイン・カーミル亡命、翌年殺害
1996 年 反体制クルド組織(KDP)がイラク中央政府と協力、湾岸戦後解放区となっていたクルド地域にイラク軍が始めて進軍
年末、経済制裁の部分解除開始
1998年 年末、イラクの国連査察団拒否を巡り英米による軍事攻撃
以来国連による大量破壊兵器廃棄プログラムの頓挫

経済

石油埋蔵量 確認量 1120 億バーレル 未確認量 2140 億バーレル
石油輸送能力(湾岸戦争以前) 日量 315 万バーレル
主要輸出ルート トルコ経由パイプライン (日量 150 万バーレル)
サウジ経由パイプライン (日量 165 万バーレル、閉鎖中)
シリア経由パイプライン (日量 50 万バーレル)

